

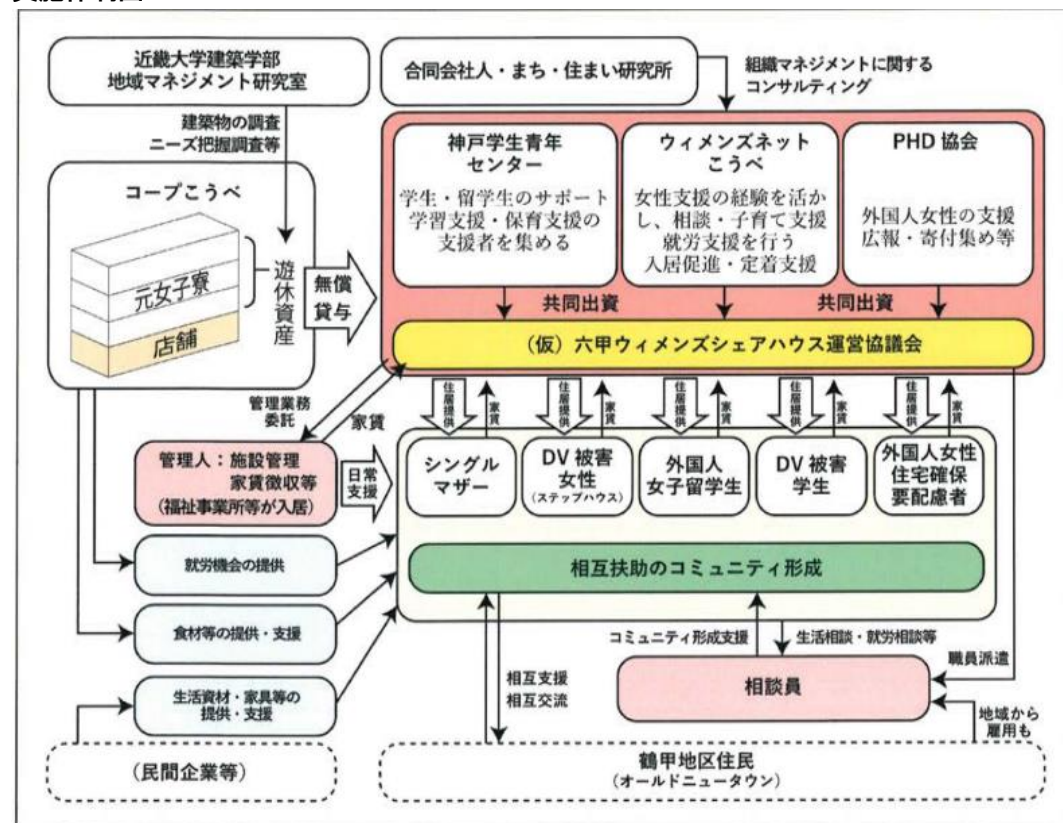
遊休資産となっている職員寮を改修して相談員付きのシェアハウスを整備し、さまざまな困難を抱えた女性たちに安心して生活できる住まいを提供する

- DV等を受けている女性、児童養護施設を出た女性、シングルマザー、高齢女性、コロナ禍で経済的困難を抱える学生・留学生の多くは所持金が少なく、保証人もなく住居取得が困難である場合が多い。本提案の対象地では、こうした対象者の住宅確保が極めて困難な現状がある。
- 本提案は、使用されていない職員寮を提案者グループが借りて改修し、相談員付きのシェアハウスを整備して困難を抱える女性に住居を提供することを目的に、入居者ニーズ調査、建物実態調査、事業運営組織の組織設計等の調査を実施する。

事業概要

代表提案者	公益財団法人神戸学生青年センター
共同提案者	認定NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ、公益財団法人PHD協会
事業実施場所	兵庫県神戸市灘区
事業実施内容	建物実態調査、支援組織形態の検討・協議、入居者ニーズの調査、情報発信
事業実施期間	令和3年12月～令和4年3月

実施体制図



評価委員会での評価内容

- 課題設定と解決の方法が明確で、複数の専門家団体が手を組んで様々な側面で困難を抱える女性を支援しようとしている点は評価できる。
- 制度から漏れる対象者を支援する取り組みだが、提案者は長きにわたり地道な活動を重ねてきた団体であり、高い実効性が期待される。
- 住戸のバリエーションや賃料設計、自立支援や対象者選定の仕組み、多様な対象者それぞれが抱える問題に対してどのように対応するかなど、実行に向けて、計画を具体的に検討されたい。